



ホー・ツーニエン

吉崎和彦

アーティスト。1976年シンガポール生まれ。ホー・ツーニエンは映像、インスタレーション、演劇的パフォーマンス、レクチャー、展覧会のキュレーションなど多岐に渡る表現活動を行っている。表現媒体は異なるものの、その作品の多くは、歴史上の人物やその逸話をもとに、公式に語られてきた歴史をイメージとテキストの集積によって紐解き、虚構や矛盾を含む複雑性を露わにさせる。

こうしたホーの実践を象徴する作品が、インターネット上で展開する《東南アジア批評辞典》（2012年～）である。東南アジアに関するアルファベットのAからZまでの言葉（例えば「Archipelago 群島」のA、「Zomia ゾミア」のZなど）を読み上げる複数のバリエーションをもつ音声と、インターネット上から集められたファウンド・フッテージが、アルゴリズムによってリアルタイムで生成されて、生み出し続ける。この無限に物語をつくり出す作品は、「東南アジア」という言葉のもつ曖昧さと、混成的で常に変化し続けるその有り様をも見せている。



ホー・ツーニエン

写真：マシュー・テオ 協力：ArtReview Asia

関連リンク

- ホー・ツーニエン 《東南アジア批評辞典》2012年～
<https://cdosea.org>

関連ワード

ゾミア、近代の超克